

偏差値20アップ ノウハウ一挙大公開 セミナー

国語編

1

すべて、嘘です。

幼いので、国語はできない→大人の価値観を知らないだけ

漢字・読書が大切→問題の作り方を知らない人の考え方

たくさん問題を解けばいい→解き方がわからなければ意味がない

テクニックでなんとかなる→今の入試、そんなに甘くはない

文章内容を理解すれば、解ける→そもそも理解できる文章なの？

塾の復習をやればよい→教え方が問題だから伸びない

目 次

1・長文読解について

1-1 長文読解指導でありがちな失敗例

1-2 正しい長文の読み方

2・記述問題について

2-1 記述指導でありがちな失敗例

2-2 正しい記述指導

1-1長文読解指導でありがちな失敗例

1・文章はていねいに読もう。音読が大切。

→間違いではないが、それで**制限時間内に読める**ようにはならない。

2・傍線部の前後をしっかりと読めばいい。文章の最初と最後を読む。

→読解は**文章全体を通して読む**ことで、設問を解くときの**細部**の読み取りも深くなる。

3・設問を先に読む。

→先に読んでも、設問も多いし設問文も長いので、覚えられず、結局**何度も確認しながら読む**ことになる。

**すべて、国語の入試問題の本質が
わかっていない指導方法！！**

1-2 正しい長文の読み方

A・文章構造を
意識

B・作成者が問
いたいところを
事前に理解

自分で、できる
ようになるまで
ひたすら訓練

1-2

正しい長文の読み方 ～A・文章構造を意識する～

論説文

序論・本論・
結論

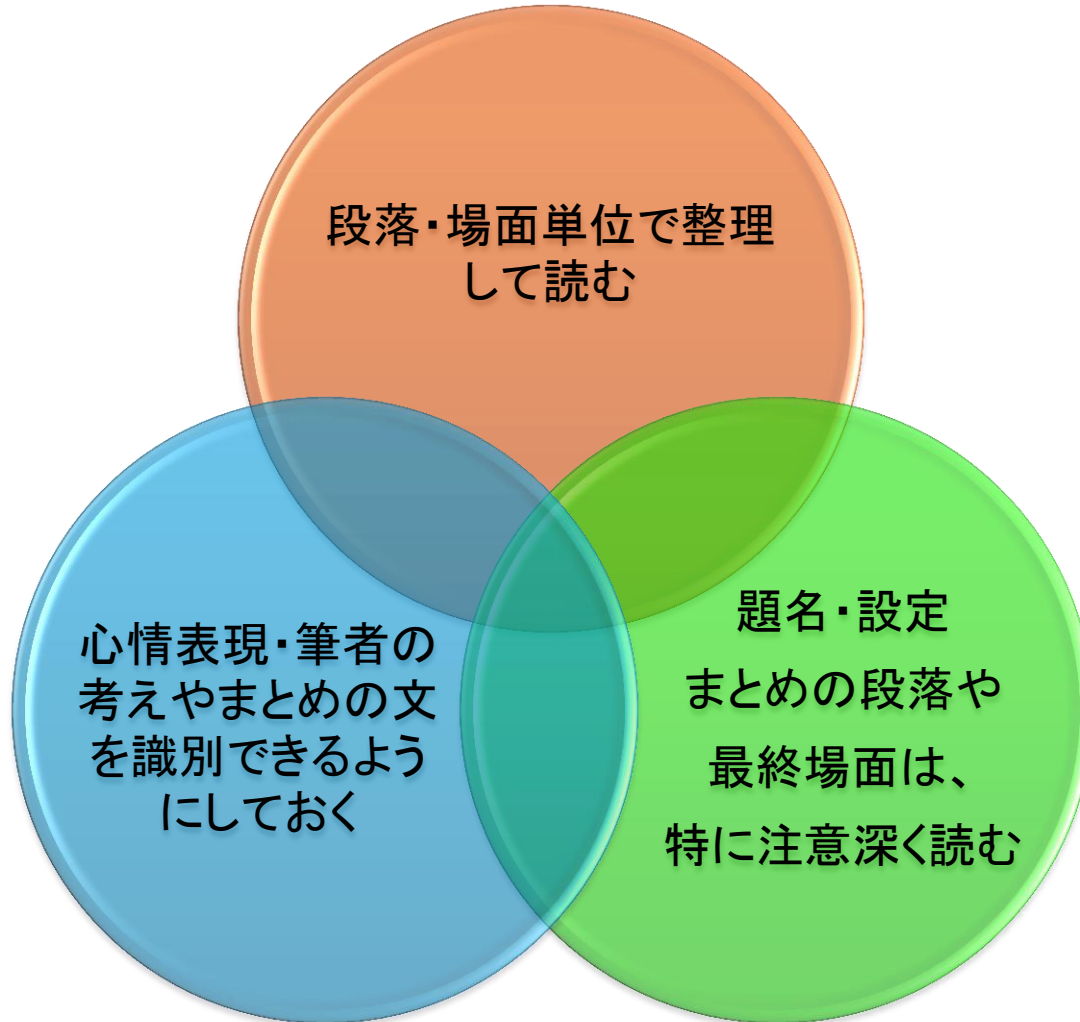
対比
一般論VS
筆者の考え

物語文

起承転結

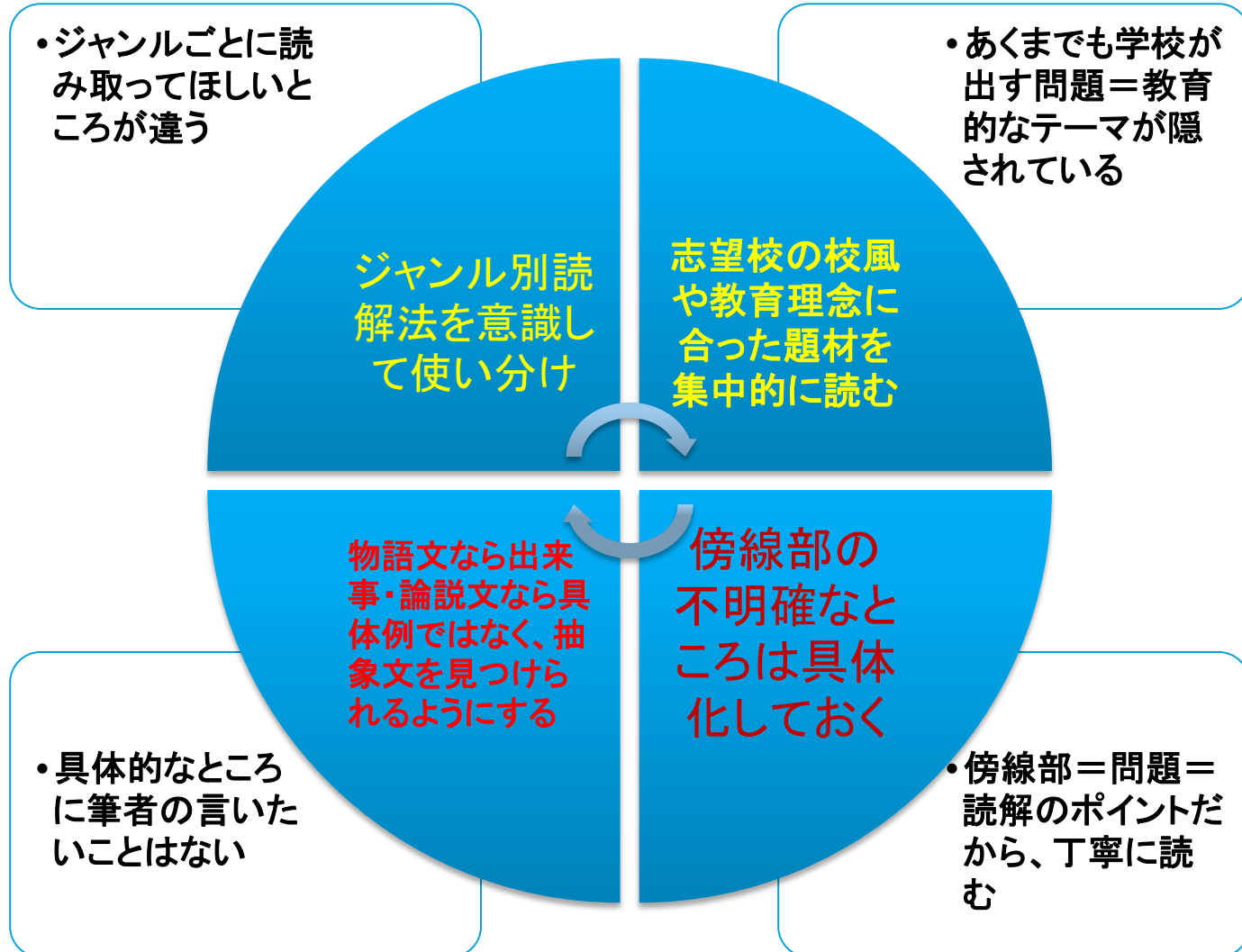
設定・主人
公の心情の
変化と学ん
だこと

文章構成を意識した長文読解の三原則 (これだけははずせない！)



1-2 正しい長文の読み方

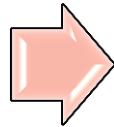
～B・作成者が問いたいところを事前に理解～



2-1 記述指導でありがちな失敗例

とにかく 手を動かす

- ・とにかく思いついたことを書けと指示するため、書き直しや主・述のねじれなどが多い



字数を 意識させる

- ・抜きだし問題のように字数を意識させながら解いて、文末だけ調整するので、解答の要素が不足することが多い



解答欄を 埋めることを 目標とする

- ・埋めることを最優先とするので、内容の吟味は後回しになり、文章内容とはかい離した答案になる

2-2 正しい記述指導 ～記述問題の考え方～

傍線部から読み取れることを明確にする。

思考パターンに当てはめる。

つなぎ方を注意しながら、文章をまとめる。

記述問題の攻略例

問い「ほっとしたような後ろめたいような
割り切れない気分」とあるが、なぜか。



傍線部から

- ① 安心↓以前、不安なことがあった。
- ② 後ろめたい↓つまり、悪いことをした。

ことがわかります。

次に、**心情の思考パターン**に当てはめます。

今までの様子……いたずらをした(A)



出来事……先生にばれずに済んだ(B)



心情……安心(C)

自分の行為を後悔する(D)

* 心情の理由を心情で説明するタイプ
の問題。

あとは

「Aのに、Bだったので、Cな気持ちになる一方
で、Dな気持ちだったから。」とまとめる。

2-2 正しい記述指導 ～効果的な記述指導～

解答の要素
を見つけさせる
(2つ以上)

書く前に、書
くべき要素を
メモさせてか
ら、書き方を
教えて、その
通りにまとめ
させる

添削を目の
前で見せて、
解答の分析
を一緒にす
る→
書き直しを
その場でさ
せる

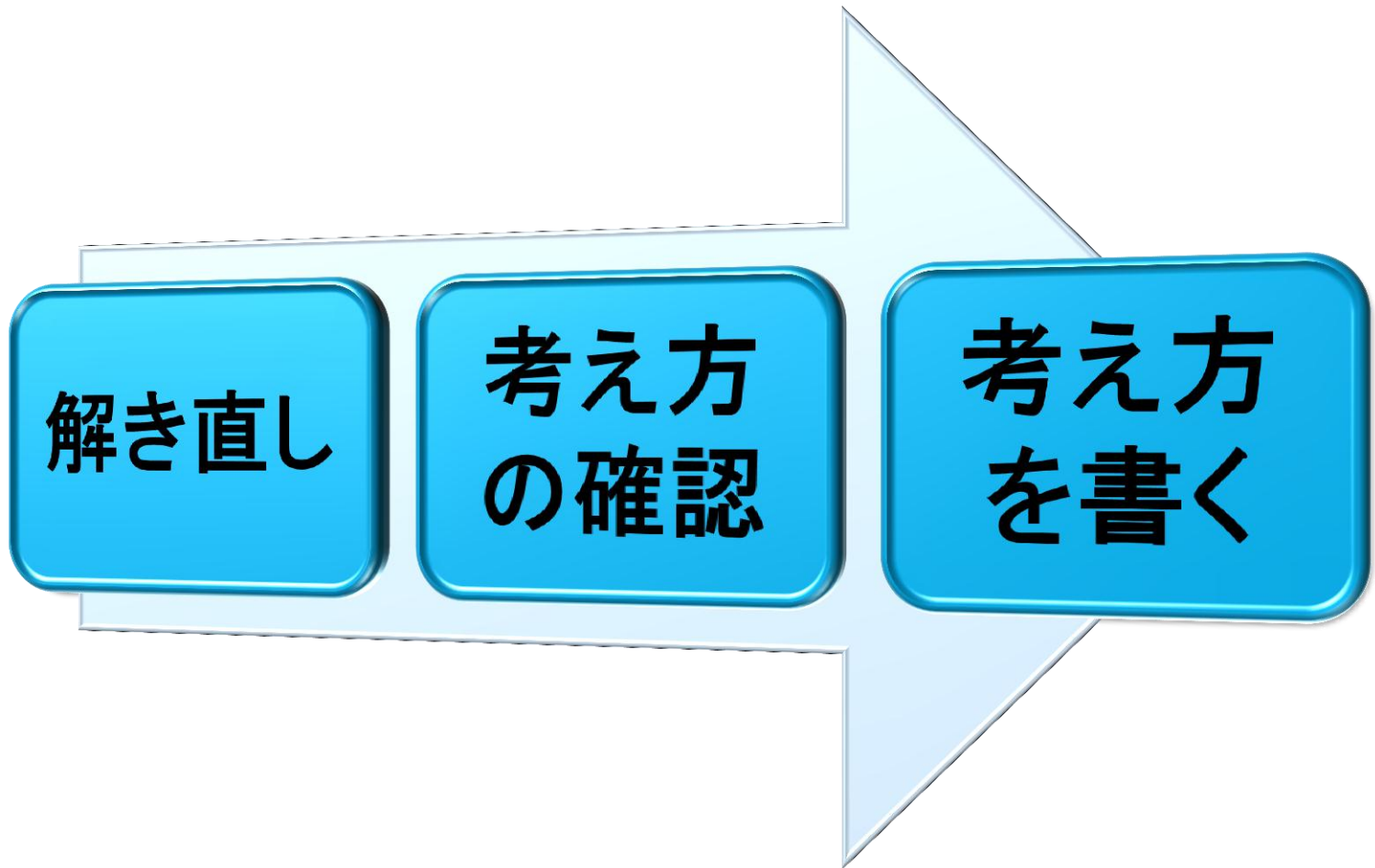
2-2 正しい記述指導 ～記述問題の効果的な学習法～

類題演習

記述問題1題1題を
深く考えて、考え方
や書き方をしっかり
マスターする

言葉力をしっかり
身に着ける

2-2 正しい記述指導 家庭学習のやり方を劇的に変える！



志望校別特訓について

